

多摩田園都市展

ハウードの遺産

東京都市大学図書館 第5回企画展

東京都市大学
世田谷キャンパス図書館
TOSHOKAN Gallery
入場無料

開館時間：9時～17時 ※16時30分までに入館して下さい。

休館日：日曜日・祝祭日・10/31・11/22 ※11/25(日)は開館

アクセス：東急大井町線「尾山台駅」下車 徒歩12分

問い合わせ：世田谷キャンパス図書館 TEL.03-5707-0104

主催：東京都市大学世田谷キャンパス図書館

協賛・協力：東京急行電鉄株式会社

企画：工学部建築学科天野研究室 / 会場構成：伊藤朱子アトリエ

2012.
10.20 (sat) - 11.25 (sun)

多摩田園都市展

ハウードの遺産

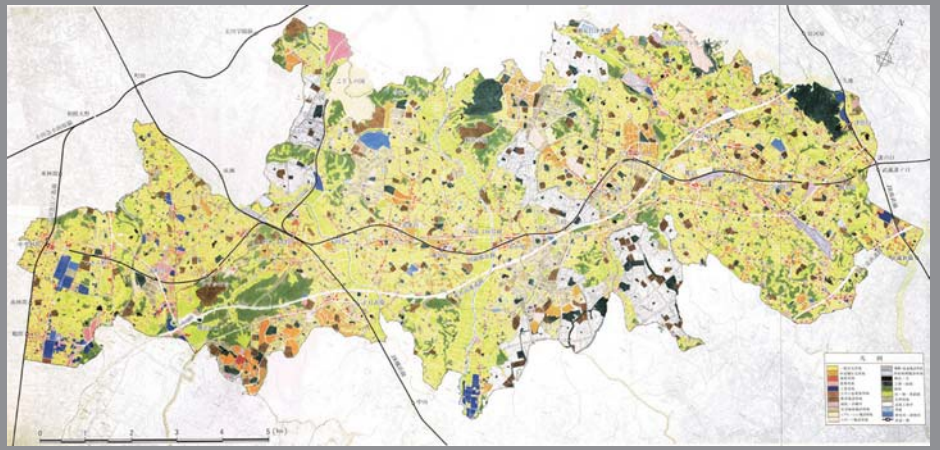
東急田園都市線沿線に広がる多摩田園都市は、一株式会社の手掛けた大規模住宅都市であり、我が国でも特質すべき都市計画事業である。五島慶太により、この住宅都市の構想が公表されてから60年の月日が流れようとしている。その源流を辿ると渋沢栄一の田園都市構想、さらに英国E.ハウードの田園都市論まで溯る。都市住宅地の有り様が問われている今日、このハウードの遺産ともいえる多摩田園都市に着目し、その歩んできた道のりを追いながら、その意義を考える。

構想から骨格形成へ

ハウードの田園都市の理想は、渋沢栄一等に受け継がれ、田園調布等の郊外住宅地開発を経て、五島慶太による多摩田園都市開発構想「城西南地区開発趣意書」に結実した。本格的な近代化を歩み始めた日本の首都東京は、関東大震災を経験し、急激な人口増加にさらされる。この背景をもとに大ロンドン計画を参考にした「首都圏整備計画」は、基本的に開発が規制される近郊地帯（グリーンベルト）案が含まれた。対象地域がまさにこの近郊地帯に重なる多摩田園都市の開発は危ぶまれたが、「多摩川西南新都市計画」をバックボーンとして、土地区画整理事業による市街地建設の道を開き、多摩田園都市の骨格が形成された。

発展から継承へ

近代建築運動メタポリズムの代表的建築家菊竹清訓により「ペアシティ計画」が策定されたが、多摩田園都市は、人口は急増した反面、都市施設の整備が遅れをとっていた。そこで「アミニティプラン」を策定し、都市施設の充実により「住民が快適に生活できること」を目指した。その後、開発30周年を期に「多摩田園都市21プラン」を打ち出し、21世紀に向けた豊かな街づくりに取り組み、継続的なコミュニティ形成に努力を重ねている。

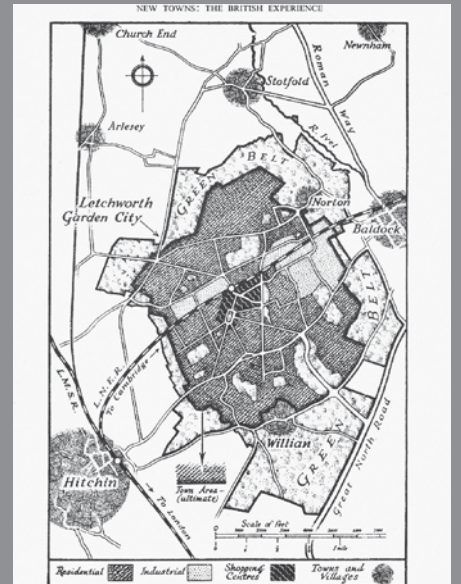


多摩田園都市



E.ハウード

Hazel Evans 「Towns The British Experience」



レッチワース

Hazel Evans 「Towns The British Experience」

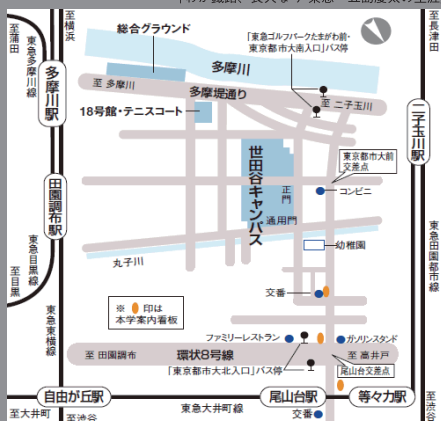


五島慶太

北原遼三郎
「わが鉄道、長大なり 東急・五島慶太の生涯」



上：城西南地区開発趣意書計画図 下：「ペアシティ計画」完成予想模型



会場
東京都市大学
世田谷キャンパス 図書館
東京都世田谷区玉堤 1-28-1
TEL:03-5707-0104
<http://www.tcu.ac.jp>

アクセス
・東急大井町線 尾山台駅徒歩12分
・東急東横線・東急多摩川線
多摩川駅より東急バス 二子玉川駅行6分
＜東急ゴルフパークたまがわ前・東京都大南入口＞下車徒歩3分
・東急田園都市線 二子玉川駅より東急バス 多摩川駅行7分
＜東急ゴルフパークたまがわ前・東京都大南入口＞下車徒歩3分
・東急東横線 田園調布駅より東急バス 千歳船橋駅行5分
＜東京都大南入口＞下車徒歩5分